

事業所名					
事業所概要	職員配置	職種	氏名		備考

- 評価の目的
- ・仕様書の事業内容が出来たかどうかの評価ではない
  - ・機能強化事業を中心に障がい児支援を推進した結果、福井市の障がい支援がどのような状況かを評価する
- 評価の方法
- ①自己評価
- ②行政評価
- ③こども部会において総評として委員より意見をもらう

【項目毎評価の方法】											
チェック項目：実施＝○、一部実施＝△、実施していない＝×											
総評：チェック項目が全て○＝A、○及び△＝B、×を含む＝C											
取組項目		自己評価		項目		取組と取組結果	今後の取組・改善方針 (地域課題含む)	行政評価			こども部会委員の意見
		総評	チェック					総評	チェック	評価内容・今後の方針	
1 援七の 質ン の童 向！ 発上 職達 員支	①質の向上			a	児童発達支援センターにおいて障がいの種別やその特性に対応した専門的かつ適切な支援ができ、機能強化事業に対応できるよう職員の質の向上を行った。	【研修回数】 ____回 【内容】  取組結果は良かったこともほしい  ・総評がAの項目で評価資料を添付できるものは添付する	総評がB・Cの項目は入力必須  継続して取り組んでいけるといい内容も入力する			項目によって関係部署への聞き取りも行いながら評価する  今後の市の方針(考え)も入力できるところ	意見できるところだけの入力でよい
				a	児童発達支援センターの存在や役割、本事業について本市の障害児通所支援事業所に対し、周知を行った。		地域課題から見えてきた取り組んだ方がいい内容も入力する(ただし、地域課題は課題を感じた都度、こども部会にあげるこ				
				b	障害児通所支援事業所の訪問によりアセスメントや個別支援計画の作成、具体的な支援方法等について専門的な助言・指導を行った。	【訪問事業所】 ____カ所 【訪問回数】 ____回 【内容】					
				c	新規事業所は必ず訪問し、専門的な助言・指導を行った。	【訪問事業所】 ____カ所 【訪問回数】 ____回 【内容】					
2 障 害 児 通 所 支 援 事 業 所 へ の	①周知			a	児童発達支援センターの存在や役割、本事業について本市の障害児通所支援事業所に対し、周知を行った。						
				b	障害児通所支援事業所の訪問によりアセスメントや個別支援計画の作成、具体的な支援方法等について専門的な助言・指導を行った。	【訪問事業所】 ____カ所 【訪問回数】 ____回 【内容】					
	②スーパーバイズ・コンサルテーションの実施			c	新規事業所は必ず訪問し、専門的な助言・指導を行った。	【訪問事業所】 ____カ所 【訪問回数】 ____回 【内容】					
				d	児童発達支援センターの存在や役割、本事業について本市の障害児通所支援事業所に対し、周知を行った。						
	③その他			e	児童発達支援センターの存在や役割、本事業について本市の障害児通所支援事業所に対し、周知を行った。						
3 地 域 の 保 育 所 等 へ の 支 援	①保育所へのインクルージョンの推進			a	地域の保育所を訪問し、インクルージョン推進の意義、保育所等訪問支援や移行支援の目的および内容を説明等を行った。	【訪問保育所】 ____カ所 【訪問回数】 ____回					
				b	保育所に対し、専門的な知見に基づき、障がい児の支援方法等に関する助言を行った。	【内容】					
	②児童クラブ等へのインクルージョンの推進			c	地域の児童クラブ等を訪問し、インクルージョン推進の意義、保育所等訪問支援や移行支援の目的および内容を説明等を行った。	【訪問児童クラブ】 ____カ所 【訪問回数】 ____回					
				d	児童クラブ等に対し、専門的な知見に基づき、障がい児の支援方法等に関する助言を行った。	【内容】					
	③その他			e	保育所や児童クラブ等以外の地域の施設に訪問し、上記の説明や障がい児の支援方法等に関する助言を行った。	【訪問施設】 【訪問回数】 【内容】					
4 リ ス ク が な い こ ど も と 家 族 の こ ど も サ ボ ー ト 、 ハ イ	①相談支援			a	相談に対し、関わり方や特性理解についての助言や、必要な情報提供を行った。	【相談件数】 ____件					
				b	必要に応じた福祉サービスの利用援助(サービスの利用調整、同行、手続き代行等)や各種支援機関の紹介を行った。						
	②幼児相談会等への参加			c	発達が気になる段階のこどもとその家族に対し、適切な時期に相談対応を行い、必要な支援につなげることができた。	【相談会等の回数】 ____回 【相談件数】 ____回					
				b	こども家庭センターと連携し、発達が気になる段階のこどもとその家族への支援を行うことができた。						
5 ス 障 ク が な い こ ど も と 家 族 の こ ど も サ ボ ー ト 、 ハ イ リ	③潜在的 要支援者 への支援			a	関係機関と積極的に連携を図り、支援が必要なこどもとその家族(不登校や養育上ハイリスクな家庭等含む)を把握し、必要な相談支援を行った。	【困難ケース数】 ____回 【支援内容】					
				b	潜在的要支援者の把握を通じて地域に存在する課題やニーズの発見、把握を行った。	【課題・ニーズ】					
	④障がい児を抱える保護者間の交流会			c	保護者同士が交流できる場を定期的に開催し、保護者の障がい児への関わり方や特性理解等の知識の習得に繋がった。	【開催内容】					
				d	保護者同士が交流できる場を定期的に開催し、保護者の心理的負担の軽減や孤立感解消に繋がった。						
6 所 等 へ の 地 域 の 事 業 研 修	①福井市児童発達支援管理責任者ミーティングの運営			a	事務局として福井市児童発達支援管理責任者ミーティングを開催し、障害児通所支援事業所間のネットワーク構築を行い、連携の強化、質の向上に繋がった。	【回数】 ____回 【内容】					
7 会 自 立 支 援 協 議 会 へ の 参 画	①自立支援協議会の運営への参画			a	児童発達支援センターの業務を通し、把握した地域課題について整理し、自立支援協議会に反映できた。						
				b	行政および関係機関と連携し、社会資源の開発や支援システムの構築につなげた。						